

丹鶴叢書

前參議教長卿集 中

093.1

2006

佛教大学図書館



2005494593

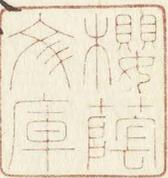




前参議教長卿集

秋哥

讃岐院の位の序時を百首の三秋



夏のうちも風吹くよふにせし秋の三日月を
目視の百首はなすくおちるるを

冬よりも涼しくぬめぬをふ海のまつ日を
山寺立秋

句題百首

神楽あはれあはれの風涼く旅より秋を
泉殿御室よんくまをまきく秋来夜始涼

りしをよとをめあ

秋草の枝しるしはふもよしの花は

秋花写し 句歌正々

もよほしはふもよしの花は

秋満好き

鹿のたしきまのついでと秋のついで

句歌正々

秋のついでと秋のついで

秋のついでと秋のついで

秋のついでと秋のついで

秋のついでと秋のついで

秋草

秋のついでと秋のついで

秋のついでと秋のついで

草花終用

秋のついでと秋のついで

山家草花

秋のついでと秋のついで

凌野花尋人

秋のついでと秋のついで

雨後草花

花のうらみは花のうらみは花のうらみは花のうらみは

昔當路迄

系尾尾尾尾尾尾尾尾尾尾尾尾尾尾尾尾尾尾尾尾

のうらみは花のうらみは花のうらみは花のうらみは

一花のうらみは花のうらみは

花のうらみは花のうらみは花のうらみは花のうらみは

戶外対古 夕陽西下

花のうらみは花のうらみは花のうらみは花のうらみは

古離対昔

花のうらみは花のうらみは花のうらみは花のうらみは

古離

花のうらみは花のうらみは花のうらみは花のうらみは

花のうらみは花のうらみは花のうらみは花のうらみは

回院百のうらみは花のうらみは

花のうらみは花のうらみは花のうらみは花のうらみは

蘭香入簾 夕陽西下

花のうらみは花のうらみは花のうらみは花のうらみは

花のうらみは花のうらみは

花のうらみは花のうらみは花のうらみは花のうらみは

雲々草花

花のうらみは花のうらみは花のうらみは花のうらみは

霧はくもちむんささのよめおんるんさく公成
同寺村暮のうへんあるはいつ

秋霧籠橋 夕題百首

河霧のおもたなまをささる村やいもささる流の橋も
霧中まき帆

風をさるる山霧の終ふけつ舟のほのゆるの南
渡は流位の寺村の百首の槿花を

よもよちぬて持たさるあつさるあつさるあつさる
槿花掛離 夕題百首

あつさるあつさるあつさるあつさるあつさるあつさる
渡は流位の寺村の百首の槿花を

あつさるあつさるあつさるあつさるあつさるあつさる
同院の百首

あつさるあつさるあつさるあつさるあつさるあつさる
あつさるあつさるあつさるあつさるあつさるあつさる

あつさる

あつさるあつさるあつさるあつさるあつさるあつさる
あつさるあつさるあつさるあつさるあつさるあつさる

丹鶴齋書

数
玉葉雜五

...

...

...

...

...

經定家致合子月

...

清輔家致合子

...

經定家致合子

...

俊成子

...

...

...

...

...

...

...

秋のよき月のひかりは月を照らす氷のつらさのこころは

月照松

ちの秋のよき月のひかりは松のこころを照らす月を照らす松

月照菊花

ちの秋のよき月のひかりは菊のこころを照らす月を照らす菊

松宿月

ちの秋のよき月のひかりは松のこころを照らす月を照らす松

ちの秋のよき月のひかりは松のこころを照らす月を照らす松

ちの秋のよき月のひかりは松のこころを照らす月を照らす松

旅泊月

1872

ちの秋のよき月のひかりは松のこころを照らす月を照らす松

ちの秋のよき月のひかりは松のこころを照らす月を照らす松

月の家友

ちの秋のよき月のひかりは松のこころを照らす月を照らす松

月每人友

ちの秋のよき月のひかりは松のこころを照らす月を照らす松

社政の月

ちの秋のよき月のひかりは松のこころを照らす月を照らす松

寺岡の月

ちの秋のよき月のひかりは松のこころを照らす月を照らす松

九月十三日

九月十三日

Handwritten cursive text in the right column, consisting of approximately 12 lines of characters.

Small vertical mark or signature at the bottom of the right column.

Handwritten cursive text in the middle column, consisting of approximately 12 lines of characters.

Handwritten characters, possibly a name or title, located in the middle column.

Handwritten cursive text in the left column, consisting of approximately 12 lines of characters.

法眼静賢

擣衣の杵の板の音の響きけき月をひらきけき
おぬきの位の田村の百の音の擣衣の音

おぬきの位の田村の百の音の擣衣の音

擣衣夜曙 夕影百々

おぬきの位の田村の百の音の擣衣の音

西山邊 夜擣衣

おぬきの位の田村の百の音の擣衣の音

志聞擣衣

おぬきの位の田村の百の音の擣衣の音

擣衣院の位の田村の百の音の擣衣の音

4442

おぬきの位の田村の百の音の擣衣の音
回院の音の響きけき

おぬきの位の田村の百の音の擣衣の音

潜夜院位の音の響きけき

中よよん

おぬきの位の田村の百の音の擣衣の音

床下蟻 夕影百々

おぬきの位の田村の百の音の擣衣の音

隔河の虫

おぬきの位の田村の百の音の擣衣の音

深夜閑虫

秋涼の夜の静けさ
旅宿中

月影の移るを
窓は此位の静けさの中

五ん

今更けの静けさ
閑居の静けさ

長月の静けさ

九日菊

夕暮

五ん

夕暮の静けさ

菊の静けさ

静けさの静けさ

静けさの静けさ

静けさの静けさ

閑居の静けさ

静けさの静けさ

静けさの静けさ

静けさの静けさ

静けさ

神代の事なりと云ふは、
神代は、
神代は、
神代は、

雨申落葉

雨申落葉
雨申落葉
雨申落葉

雨申落葉
雨申落葉
雨申落葉

雨申落葉
雨申落葉
雨申落葉

閑路落葉

閑路落葉

閑路落葉
閑路落葉
閑路落葉

行路落葉

行路落葉
行路落葉
行路落葉

小葉落葉

小葉落葉
小葉落葉
小葉落葉

小葉落葉
小葉落葉
小葉落葉

小葉落葉
小葉落葉
小葉落葉

風をよめるは秋の夜半の月をよめるに
 比して余の心は秋の夜半の月をよめるに
 比して余の心は秋の夜半の月をよめるに
 比して余の心は秋の夜半の月をよめるに
 比して余の心は秋の夜半の月をよめるに

秋の夜半の月をよめるに
 比して余の心は秋の夜半の月をよめるに
 比して余の心は秋の夜半の月をよめるに
 比して余の心は秋の夜半の月をよめるに
 比して余の心は秋の夜半の月をよめるに

秋の夜半の月をよめるに
 比して余の心は秋の夜半の月をよめるに
 比して余の心は秋の夜半の月をよめるに
 比して余の心は秋の夜半の月をよめるに
 比して余の心は秋の夜半の月をよめるに

あまのつばき つばき 花のいろはに
あまのつばき つばき 花のいろはに

あまのつばき

豊後守のつばき

あまのつばき つばき 花のいろはに
あまのつばき つばき 花のいろはに
あまのつばき つばき 花のいろはに

あまのつばき

権律師のつばき

あまのつばき つばき 花のいろはに
あまのつばき つばき 花のいろはに

あまのつばき

秋のほくろのつばき

山家秋書

あまのつばき つばき 花のいろはに
あまのつばき つばき 花のいろはに
あまのつばき つばき 花のいろはに

松翁秋晩

あまのつばき つばき 花のいろはに
あまのつばき つばき 花のいろはに

た甲のふりておまの松の園の松のまの松の
同院のまの松

教のまの松のまの松のまの松のまの松の
まの松のまの松のまの松のまの松の

まの松のまの松のまの松のまの松の
まの松のまの松のまの松のまの松の

時雨易暗

夕題百首

井下時雨

神のまの松のまの松のまの松のまの松の
まの松のまの松のまの松のまの松の
まの松のまの松のまの松のまの松の
まの松のまの松のまの松のまの松の

風雅冬

夕題百首

清輔のまの松のまの松のまの松のまの松の

まの松のまの松のまの松のまの松の
まの松のまの松のまの松のまの松の

松のまの松のまの松のまの松のまの松の
松のまの松のまの松のまの松のまの松の

まの松のまの松のまの松のまの松の
まの松のまの松のまの松のまの松の

まの松のまの松のまの松のまの松の
まの松のまの松のまの松のまの松の

浅茅草

夕題百首

東の山に雪の降りて
 松の葉も白く染まり
 遠くまで見わたる
 静かなる冬景色

同院の雪

雪散如珠 句 芭蕉

行路 雪

猿宿 白雪

雪の降りて猿も静か
 山に響く雪の音
 静かなる冬景色

水きののりよきとて 水鳥乗船
かき鳥あはれよきとて 水鳥乗船
水鳥乗船 水鳥乗船

水鳥乗船

水鳥乗船 水鳥乗船
水鳥乗船 水鳥乗船

水鳥乗船

水鳥乗船 水鳥乗船
水鳥乗船 水鳥乗船

水鳥乗船

水鳥乗船 水鳥乗船
水鳥乗船 水鳥乗船

水鳥乗船 水鳥乗船
水鳥乗船 水鳥乗船

水鳥乗船

水鳥乗船 水鳥乗船
水鳥乗船 水鳥乗船

讚岐院位所村のふさし神樂と

柳葉のたしきかき縁如神のくまふさふさ

社所村 白巻

ふさふさのふさし神のくまふさふさ

ふさふさの位所村のふさし鷹狩と

ふさふさの位所村のふさし鷹狩と

鷹狩路 白巻

ふさふさの位所村のふさし鷹狩と

讚岐院位所村のふさし炭竈と

海老ふさの炭竈と

白巻

ふさふさ 白巻

ふさふさの位所村のふさし炭竈と

讚岐院位所村のふさし炭竈と

ふさふさの位所村のふさし炭竈と

煙火如春 白巻

ふさふさの位所村のふさし炭竈と

ふさふさの位所村のふさし炭竈と

ふさふさの位所村のふさし炭竈と

ふさふさの位所村のふさし炭竈と

ふさふさ

此乃... 丹雀書言... 中 廿八...
 此乃... 丹雀書言... 中 廿八...

冬夜

寒中稿

題補之家哥合冬月

冬月

冬月

冬月

此乃... 丹雀書言... 中 廿八...
 此乃... 丹雀書言... 中 廿八...

絶古今冬

澄波流るる水は静かなる

了絶古

たちよりの水は静かなる水は静かなる水は静かなる

春の静かなる水は静かなる

重出上下

春の静かなる水は静かなる水は静かなる

春の静かなる水は静かなる水は静かなる

光惜歳暮

春の静かなる水は静かなる水は静かなる

春の静かなる水は静かなる水は静かなる

春の静かなる

春の静かなる水は静かなる水は静かなる

九九

澄波院位の声の静かなる除夜と

春の静かなる水は静かなる水は静かなる

後如の静かなる水は静かなる

巳出上下

春の静かなる水は静かなる水は静かなる

除夜述懐 夕色百景

春の静かなる水は静かなる水は静かなる

丹雀齋書

中
三十止

三三〇

